

令和2年度社会福祉法人九戸村社会福祉協議会事業報告

今日、私たちを取り巻く社会情勢は益々厳しさを増し、特に少子高齢化の進行による高齢化率の上昇、家族形態の変化等に伴う高齢者世帯・ひとり暮らし高齢者の増加等により、これらに対応する福祉活動の推進は益々重要なものとなっております。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により私たちをとりまく状況は大きく変容し、日常生活において、様々な影響・制限を余儀なくされております。

当協議会の高齢者福祉事業においても、多人数のサロン行事、スポーツ大会等が中止となるなど様々な影響がありました。介護保険事業においては、安心してサービスをご利用いただけるよう感染予防対策を徹底し、サービスを提供いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかにおいて、益々高齢者等の孤立化、生活困窮者の増加等様々な問題が増加しており、行政の福祉施策とともに民間の社会福祉活動との連携がますます必要となっております。

当協議会では、これらの厳しい状況のなか、総合福祉センターの管理運営事業等を実施するほか、介護予防事業の一環として水中ウォーキング事業、子育て支援対策として学童保育事業等を村からの委託を受け実施いたしました。

又、介護保険に係るデイサービス事業・訪問介護事業・居宅介護支援事業を実施し、地域住民のための総合的な介護・福祉事業を展開いたしました。

又、老人クラブ・身障団体・ボランティア団体等への支援を行い諸団体の活動を推進し、さらに九戸村シルバー人材センターとの連携のもとに、高齢者の就労の機会を拡大するなど地域社会とのつながりも深めてまいりました。

1. 法人運営事業

当協議会の基盤事業であり、法人運営の効率化・組織強化を図るとともに、住民の参加と財政基盤の確立を目的として全世帯の加入を推進し90.3%にあたる世帯より会費のご協力をいただきました。また、村より職員設置に伴う補助金をいただき、会の運営をいたしております。

○一般会費収入 1,304,800円 (700円×1,864世帯)

○職員設置補助金 4,946,000円

2. 地域福祉事業

九戸村に居住する高齢者等を対象として、病院への定期通院時で月2回を限度とし、車椅子仕様車、及びストレッチャー仕様車での移送サービスを実施いたしました。

また、介護予防自立支援事業の一環として、65歳以上の独居高齢者・高齢者世帯のうち希望する方々に対し、安否確認をも兼ね週1回(300円)の配食サービスを実施いたしました。

3年に1回開催している金婚式については、コロナ禍により記念撮影のみの実施となりましたが、15組のご夫婦の参加がありました。

○移送サービス事業受託金収入 322,000円

・年間利用件数24件

・月別利用者状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	2	2	2	4	4	1	1	2	2	0	1	3	24

○配食サービス事業受託金収入 150,000円

・登録件数 16件（令和2年度末）

・年間配食数 521食

○金婚式開催事業受託金事業収入 346,929円

・開催日 令和2年11月20日

・参加人数 15組30名

・開催内容 コロナ禍により、記念写真撮影のみ実施
金婚の章、記念ボトル（日本酒）、折箱等贈呈

3. ボランティア活動推進事業

村からの委託をうけ、ボランティアの育成を図ると共に、各ボランティア団体活動への支援、各関係機関との連絡調整、企画立案等行い、ボランティア活動の推進に努めました。

○ボランティア活動推進事業受託金収入 3,239,000円

○ボランティア登録者数(令和2年度末) 個人27名、団体14団体(244名)

○ボランティア育成事業

・災害ボランティア講習会 コロナ禍により中止

○ボランティア活動事業

・声の広報朗読ボランティア 延べ35名（中高生、一般）

・地域ごとふれあいサロン 3ヶ所（3団体）延べ35回開催

・給食サービス配達ボランティア 延べ100名 提供回数50回、521食

・デイサービス等ボランティア コロナ禍により受入無し

・福祉バザー・ガレージセール コロナ禍により中止

・子育てサロン

参加者 0名

（子育てサロン室利用者延べ人数 12名）

・ふれあい交流会

コロナ禍により中止

・おでかけサロン

コロナ禍により中止

4. 水中ウォーキング事業

水中で無理のない運動を行うことで体力の維持増進を図り、介護予防を資することを目的として実施いたしました。

○水中ウォーキング事業受託金収入 2,866,324円

- ・週2回開催、年間開催回数78回、参加者延べ人数423名

5. 生活管理指導員派遣事業

介護予防、介護保険非該当の村内在住高齢者（概ね65歳以上）の日常生活支援を目的として、村からの委託事業として実施いたしました。

○生活管理指導員派遣事業受託金収入 105,000円

- ・延べ派遣回数 35回（利用者1名）

6. 訪問介護事業

介護認定者を対象として、居宅において家事援助、身体介護、通院介助等日常の生活支援を実施いたしました。

○介護保険事業収入 10,906,930円

○月別ヘルパー派遣状況

- ・介護予防・日常生活支援総合事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	5	5	4	4	4	5	5	5	6	6	6	7	62
派遣回数	26	22	21	20	20	23	30	27	31	30	26	36	312

- ・介護保険事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	15	16	16	17	17	16	14	15	16	15	14	17	188
派遣回数	231	247	262	298	259	282	277	262	326	309	259	313	3,325

7. デイサービス事業

日常生活支援を行い、閉じこもり防止、いきがづくり、介護度進行の抑制等を目的として、介護予防、介護認定者のデイサービス事業を実施いたしました。

○介護保険事業収入 42,757,348円

- ・通所介護事業

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合事業	240	226	261	264	243	293	249	231	260	227	238	274	3,006
要介護1	106	86	127	135	110	111	137	134	137	120	146	167	1,516
要介護2	91	89	88	117	97	120	123	96	82	70	68	88	1,129
要介護3	50	46	53	52	45	45	52	69	99	90	86	103	790
要介護4	16	14	14	15	8	15	9	5	3	0	0	0	99
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
計	503	461	543	583	503	584	570	535	581	507	538	635	6,543

8. 総合福祉センター管理運営事業

総合福祉センターでは、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーション、障がい者地域活動支援センター、居住部門、当社会福祉協議会事務局等が業務を実施している他、機能回復訓練室の各機器及びカラオケルームは、デイサービスの使用時間帯を除いては、広く住民に開放いたしました。

- 総合福祉センター管理運営受託金収入 12,494,000円
- 利用料収入（居住食事代300円× 9,576食） 2,872,800円
- 令和2年度末入居者数 12名

9. ひとり暮らし高齢者の集い事業

コロナ禍により、中止

10. 共同募金助成事業

県共同募金会からの配分金を財源として、各福祉団体・施設等への配分、および福祉活動への援助を行うと共に、歳末たすけあい配分委員の協力のもとに低所得世帯等への援助活動に努めました。

(1) 一般募金配分金収入（赤い羽根） 1,028,528円

自主財源繰入金 28,072円 計1,056,600円

区 分	金 額	事業名	金 額	実施内容
老人福祉活動費	280,000	ひとり暮らし高齢者の集い事業	0	コロナ禍により中止
		おでかけサロン事業	0	コロナ禍により中止
		ヤクルト給付事業	14,964	利用者1名、1本/日、週2回安否確認
		買い物支援事業	134,683	第1.3水曜日、登録者数29名、22回、延べ336名、登録29名
		ふれあいマッサージ	93,000	毎週月、金実施
		高齢者総合相談事業	37,353	留守録機能電話設置により24時間対応
障がい児・者福祉活動費	20,000	活動支援センターエール活動費	20,000	活動助成金
児童・青少年福祉活動費	230,000	福祉協力校助成事業	210,000	村内7校を福祉協力校として指定し、福祉活動を奨励。助成金1校30,000円
		子育て支援事業	20,000	子育てサロンの実施、サロン室の開放
福祉総合支援事業	526,600	ボランティアセンター運営事業	71,781	管内災害ボランティアセンター研修訓練8名（民生委員・職員）

		ボランティア連絡協議会助成金	20,000	活動費の助成
		スノーバスターズ活動事業	26,019	見守り・除雪ボラ 27名、見守り り・除雪ボラ 9回、有償ボラ 5回
		ボランティア活動保険	82,600	@350円×236名
		健康福祉大会事業	35,700	表彰のみ実施 表彰・記念品等
		心配ごと相談事業	98,880	年6回実施、相談件数14件
		広報活動事業	191,620	社協だより年4回発行のうち1回 分
計	1,056,600			

(2) 歳末たすけあい配分金収入 1,036,500円

区 分	金 額	内 訳
在宅者配分金	688,000	8,000円×86名
施設配分金	151,500	村内3施設 利用者123名
地域福祉活動費配分	197,000	村内通所介護3施設 利用者214名
計	1,036,500	

11. 九戸村福祉基金造成事業

村全体の福祉に活用することを目的として、各団体・個人等からの寄付金を基金として積み立てを実施しておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により寄附金がなかったため、預金利息分のみの積立となりました。

○令和2年度末福祉基金積立額 26,473,991円（内本年度分2,598円）

12. 助け合い金庫運営事業

生活上又は医療継続上、その他生計維持のために一時的に現金を必要とし、かつ他から融資を受けることのできない方を対象として実施いたしました。

○令和2年度新規貸付額 50,000円 新規1件

○令和2年度末貸付残高 328,500円 9件

13. 生活福祉資金運営事業

岩手県社会福祉協議会からの貸付・債権回収業務の委託事業で、民生委員の協力を得ながら、所得の少ない世帯、障がい者世帯、要介護者世帯、高齢者同居世帯等に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図ることを目的として実施いたしました。

また、償還中の方には、それぞれの方々の状況確認等行いながら資金が有効活用されるよう指導いたしました。

○生活福祉資金受託金収入	126,795円
○令和2年度末貸付在高件数	15件
○令和2年度新規貸付	
・福祉資金 1件	2,000,000円
・緊急小口資金（コロナ特例貸付）2件	300,000円（コロナ特例）

14. 地域活動支援センター運営事業

障がい者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とし、創作活動又は生産活動の機会の提供と社会との交流促進を図るため、村の委託事業として実施いたしました。

○地域活動支援センター事業受託金収入	5,342,000円
○支援センター開所日数	241日
○利用者延べ人数	464人

15. 障がい福祉サービス事業

障がい者が地域社会で自立した生活を送ることができるよう、居宅介護事業（ヘルパー派遣事業）を実施いたしました。

○自立支援費等収入	223,870円
○登録利用者数 令和2年度末	2名
○延べ派遣回数	101回

16. 学童保育事業

勤労世帯等における小学校児童のうち、放課後等に保護を要する低学年を中心とした児童を対象として遊びや生活の場を提供し児童の健全育成を図るため、村からの委託を受け実施いたしました。

○学童保育事業受託金収入	7,189,000円
○令和2年度末登録人数	47名
○令和2年度利用者延べ人数	7,356名

17. 高齢者就労支援事業

高齢者が追加的収入を得るとともに、健康を保持し、生きがいをもち、地域社会に貢献することによって、より有意義な生活を送ることができるよう村からの委託を受け、九戸村シルバー人材センターとともに村内の高齢者の就労を推進いたしました。

○高齢者就労支援事業受託金収入	1,456,000円
○令和2年度末会員数	71名
○令和2年度受注件数	446件
○令和2年度受注金額	21,670,076円

18. 居宅介護支援事業

対象者の生活機能、健康状態等を把握し、対象者に最もあったケアプランを作成するとともに、それに基づいて指定居宅サービス事業者との連絡調整等を実施いたしました。

また、ケアマネージャー1名は地域包括支援センターに出向しており、2名分の実績です。

○介護保険収入	10,639,310円
○令和2年度ケアプラン作成件数	779件
○令和2年度末サービス提供人数	70件